

まえがき

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0最大震度7の観測史上最大の地震が発生し、大津波を伴い、東日本において未曾有の被害をもたらしました。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の1日も早い復旧・復興を心から願っています。

今回の大震災では、本県においても建物損壊や火災を始め、鉄道の停止、道路の渋滞等大きな混乱を生じました。現在も、災害に対する不安、放射性物質拡散への懸念など、私たちの生活全般に大きな影響が及んでいます。

秋田県においては3海域連動によるマグニチュード8.7の地震による大津波も想定されており、昭和58年5月26日に発生し、多くの尊い生命と財産を奪った日本海中部地震はもちろん、東日本大震災から私たちは多くのことを学び、今後の災害に対し十分な備えをしなければなりません。

こうした中、秋田県教育委員会では、今年度より、「防災教育推進委員会」を設置するとともに、専門家の協力を得て、研修の充実・情報の充実・地域連携の充実を大きな3本の柱とした新しい防災教育への取組を進めてまいりました。

この度、平成24年度の取組をまとめた実践事例集を作成しました。本事例集は学校における防災教育の具体的な進め方や外部指導者の活用状況など、学校や地域の実態に応じた実効性のある内容が紹介されております。

各学校においては、本事例集を活用し、幼児児童生徒及び教職員の「防災対応力」の育成を図っていただきますようお願いいたします。

結びに、本実践事例集の作成にあたり御協力いただきました各学校及び関係機関に対し深く感謝の意を表します。

平成25年3月

秋田県教育庁保健体育課
課長 越後谷 真悦